

令和2年度第3回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 令和2年11月18日(水) 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室(岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志(岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長)
澤田 明(岐阜大学医学部附属病院 眼科 講師)
加藤 達雄(国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長)
大野 元(岐阜県産婦人科医会 理事)
事 務 局 : 石塚 敏幸(感染症対策推進課 感染症対策第二係長)
山田 涼子(感染症対策推進課 技師)
今尾 幸穂(保健環境研究所 疫学情報部長)
岡 隆史(保健環境研究所 主任専門研究員)

4 議 題 (進行:加藤委員)

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) 情報提供すべき事項について
- (4) 情報提供(月番委員専門分野から)
- (5) その他

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○新型コロナウイルス感染症の感染予防の啓発について

(加藤委員)

- ・中濃及び東濃圏域などで外国人の発生が多くみられている。言語的な問題が大きいと思うが、これらの人々に同病のリスクに関する情報を提供し、感染拡大を防ぐための行動変容をさらに促すことが重要だと考える。また若者に対する啓発も重要だと考える。

(委員からのコメント:外国人への啓発について)

- ・ 県が管轄するインターネットサイトのうち、外国人の方が良く閲覧するサイト（感染症に限らず日常生活に関するものも含む）に、厚生労働省などが公開している感染症に関する外国人向けのサイトへのリンクを張るようにすれば良いのではないかと。
- ・ 外国人の方が多く通う学校に、ポスター等を配布することも良いと思う。
- ・ 県としては、外国人の方が良く訪れる場所あるいは多く集まる機会を把握して啓発することが重要だと思う。
- ・ 言語的な問題や文化の違いなど課題は多いと思うが、単なるコミュニケーション不足によって感染が拡大してしまうのは残念なので、県として検討を続けてもらいたい。

（委員からのコメント：若者への啓発について）

- ・ 現在も県で少し行われているが、SNS を利用した情報提供だと若者には良いかもしれない。
- ・ 感染症のリスクを知ることは、若者個人だけでなく、その家族を守ることにつながるということを啓発していくことが重要だと思う。

【情報提供すべき事項について】

- ・ インフルエンザワクチンの不足状況

【情報提供（月番委員専門分野から）】

- ・ ユニバーサルマスクの効果について。

【感染症対策推進課から情報提供】

（感染症対策推進課から）

- ・ ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチンの供給見通しについて